

## ごあいさつ



江田島市となりまして早くも8ヶ月が経ちました。また、平成17年も折り返しとなりました。時の流れは、光陰矢のごとしです。

今年は5年に一度の国勢調査の年でもあります。前々回調査の平成7年における江能四町人口は、34,866人、前回調査の平成12年では32,278人(2,588人減)。平成17年5月末現在の江田島市人口は30,828人。確実に減少しています。

高齢化率(65歳以上の方々の人口比)も30%を超えるものと推測できます。(平成12年国勢調査の数字でいくと28.8%。自衛隊関係者を除けば、すでに30%を超えているのではないのでしょうか。)

一方で、若者の流出や少子化は加速度的に進んでいるのも現実であり、若い世代が定住していただくことも早急に検討していかなければなりません。子供さんを持っておられる家庭で必要とするものは、小児医療機関と学校などの充実ではないでしょうか。このことは都市部においてもいえる共通の認識であると思います。

交通網の発達により、20年前と比べるとはるかに広島市や呉市への通勤・通学はよくなりました。気候や自然環境も良く、子供たちが成長するにおいては素晴らしいまちであると思います。

高齢者や子供たちに優しいまちづくりを第一に考えて活動してまいりたいと考えます。いろいろなお意見をお聞かせ頂ければ幸甚です。

胡子雅信

## 行政ISO について - 行政に経営感覚を

ISO9001とは、国際的な品質規格で、もともとは製造業種から生まれてきたものです。では、行政におけるISOシステムとはどういったものか。行政サービスの一連の流れを手順書にして、サービスを標準化するという事です。現在、江田島市の窓口業務は相当の種類があり、それに関連した業務に関しても法律の改正などにより毎年変わるものもあります。行政は往々にして縦割り社会であり、横の連携が不完全なところがあります。市民が相談してもたらい回しになったり、担当者が異なれば別の見解を受けることもあるのではないのでしょうか。

どの部署でどのような仕事をしており、どういった手続きをするのか。また、関連する部署はどこなのか、といった細かな手順をあらかじめマニュアル化することによって、業務の効率化が図れます。

【市民の幸せ】= 低コストで大きなサービス、と考えます。単にコスト削減の為に人員を削減したとしてもサービスが低下するのであれば意味がありません。行政サービスという商品をサービスの受け手(市民)の立場、目線で考えなければなりません。業務効率化とサービス向上の道具の一つとしてISOの手法を検討してもよいのではないかと考えます。

市役所は行政サービスを提供する産業とも言えます。市民には三つの側面があり、【お客様】、税金を支払う【株主】、円滑な自治をする為の【協力者】と見ることができます。故に、税金として株式会社江田島市に投資している市民への行政サービスという【配当】や【商品】としての行政サービスが市民のニーズにあうものでなければなりません。また、税金がどのように使われ、市の財政がどうであるかということも市民に情報公開していかなければなりません。マチの家計簿(貸借対照表、損益計算書など。一般会計のみならず、特別会計や企業会計を連結したもの。)を公表していかなければならないのではないのでしょうか？

### ISOとは

ISOはInternational Organization for Standardizationの略号で、日本では**国際標準化機構**とよばれています。英語名ではIOSとなりますが、ギリシャ語の「平等、標準」という意味のISOSにちなんでISOとしました。

大量に物を作るためには何らかの規格・標準が必要になります(特に国際貿易をするためには世界共通の規格)この世界共通の規格/標準をつくるための民間組織として、ISO(本部ジュネーブ)があります。なじみの深いものでは写真フィルムの感光度・非常口の誘導灯などのような製品に関する規格とシステムに関する規格(環境マネジメントシステムなど)などがあります。

## 今年度の小学生人口

平成17年4月1日現在の江田島市小学生人口は、1,208人。将来の江田島市を背負って立つマチの宝です。各小学校の人数をみますと、各地域での少子化の進捗がはっきりします。少子化対策をもっと真剣に取り組まなければならない。

<u>江田島町(421人)</u>	<u>能美町(309人)</u>	<u>大柿町(370人)</u>
切串 94人	高田 78人	大古 177人
大須 12人	中町 117人	大君 39人
津久茂 59人	鹿川 114人	柿浦 89人
宮ノ原 40人	<u>沖美町(108人)</u>	飛渡瀬 65人
江田島 147人	三高 80人	
秋月 24人	沖 28人	
小用 45人		

今後、小学校の統廃合が進むと思われますが、児童や親の立場、地域住民の意見を尊重し、慎重に検討していかなければならないと考えます。

## 広島県の事務・権限の一部が【江田島市】に移譲されました

広島県の方権改革の推進により、以下の事務・権限が江田島市に移譲されました。

県道(国道に準ずるものを除く)に関わる維持修繕(平成17年6月1日から)

対象路線 高田沖美江田島線(36)、江田島大柿線(44)

大君深江線(121)、石風呂切串線(297)、鷲部小用線(298)

秋月飛渡瀬線(299)、深江柿浦線(300)

県道に関わる単県道路改良事業(平成17年4月1日から)

対象路線 深江柿浦線

市町村合併により基礎自治体が広域になりました。それに伴い、これまで県が行ってきた事務事業をこれから各自治体が引き受ける方向に進んでおります。江田島市もこれから益々専門的な知識・業務が増えてきます。

## 【広島義塾】 設立

会報6、7号より報告しました、若手市会議員、民間企業社員、県職員、自治体職員  
の勉強会が正式に4月16日に発足しました。

【広島義塾】とは若いメンバーが、広島県とそれぞれの住んでいる地域の活性化を  
目指して月1回勉強会を開き、意見交換をしようという趣旨の異業種交流会です。

### 賛同市議会議員メンバー



広島市議会議員	森本 真治 氏	(32歳)
大竹市議会議員	寺岡 公章 氏	(31歳)
三次市議会議員	福岡 誠司 氏	(30歳)
福山市議会議員	岡崎 正淳 氏	(33歳)
廿日市市議会議員	松本 太郎 氏	(36歳)
廿日市市議会議員	栗栖 俊泰 氏	(36歳)
因島市議会議員	宮地 寛行 氏	(31歳)

今後は、広島経済(金融問題も含めて)・地方自治・20年後の広島県などをテ  
マとして意見交換していく予定です。

今後の活動をご期待下さい。

後援会に参加し、活動を支えていただけませんか？

胡子雅信後援会事務所 (大柿町公民館より徒歩1分)

住所: 〒737 - 2213

江田島市大柿町大原546 - 6 胡子ビル1F

電話: 0823 - 57 - 2184 ファックス: 0823 - 57 - 2357

ホームページ: <http://homepage3.nifty.com/ebisu7/>

E-MAIL: [ebisu7@nifty.com](mailto:ebisu7@nifty.com)

後援会規約(抜粋)

本会は、胡子雅信氏の政治活動を後援し、かつ、会員相互の親睦を深めることを目的とします。

本会は、前条の目的を遂行するため、次の事業を行います。

- 1 講演会・座談会などの開催
- 2 会報などの発行および配布
- 3 関係諸団体との連携
- 4 その他本会の目的に関連する事業

本会の経費は、会費・寄附金その他の収入をもって充当します。